

在校生・卒業生の声

APUコース高校3年生

上尾 裕美子
大分大学付属中出身
『様々な国の人々との出会いが待っている』



このAPUコースに通い始めて自分は大きく変わったと思います。まず英語の力がのびることはもちろん、韓国語やインドネシア語、そして中国語とたくさんの言語を学ぶことができました。毎週APUの国際学生が教えてくれる語学の授業はとても楽しみでした。そこで学んだことを活かすことができた韓国やマレーシアの2回の修学旅行で体験したことは、日本とは全く違うことばかりで世界の広さを肌と感じました。

入学当初は見知らぬ人とのコミュニケーションにクラスの皆がとまどっていました。しかし、このコースで刺激的なたくさんの経験をいくつかうちに自らアクションを起こしていけるようになりました。APUとのネットワークの中でできた友達は日本人だけではなく、

APU・立命館コースだからこそ、高校時代から日本にいながらこんなにたくさんの人々に出会い、何事にも自ら挑戦することを恐れない私を作ってくれたのだと思っています。

APU/アジア太平洋学部2回生

松本 哲彦
大分市立大在中出身
『高校時代から“他言語・多言語”に触れるということ』



私は当コース1期生として、3年間学んだことをフル活用しながら、とても有意義な大学生活を送っています。

私は、AP言語の授業でインドネシア語と出会い、今は大学でインドネシア語の授業を受けています。現地インドネシアに短期言語留学もしました。高校時代から“他言語・多言語”に触れることは大学に繋がると感じています。

また、APU講座の授業で学んだことも大学生活で大いに活かされています。世界に視野を広げ、普段高校で触れることのない内容について考え、リサーチを行い、他の人と考えをシェアし、人前で発表をするという経験や環境は、大学の授業にとっても似ています。この授業で手に入れた能力は、必ず大学生活で自分の力として活かすことができます。

私は今年度より、当コースAPU講座の統括TA(ティーチング・アシスタント)として、高校での授業・大学や担当教員との連携などを通して、講座授業に携わっています。このコースで学んだこと・大学で学んでいることをフル活用し、当コースの学生と一緒に頑張っていきます。

立命館大/産業社会学部1回生

工藤 真由
大分市立種田東中出身
『自己主張することの大切さ』



私はAPUコースで相手の意見も聞きながら自己主張をする大切さを学びました。この力は主にプレゼン・ディベート・小論文で培われたと感じます。何か自分が考えていることを相手に伝え、また聞くことで今まで気付かなかったことを新しい視点から発見できるようになりました。これらの授業があって英語ディベートの九州大会に出場したり、立命館の論文大賞で賞をもらったりと自分の成長を形にすることができました。また高3ではAPUで週2回、授業を受けました。ここで、留学生の自己主張の強さに驚き、自分も負けてられないと鼓舞されました。また高校生で大学の授業を経験でき、大学に入ってからスムーズに対応できるのも大きなアドバンテージです。APUコースでの3年間は、大学に入ってからでも確実に生かされることばかりを経験しました。このコースに入って本当に良かったなと今、実感しています。

立命館アジア太平洋大学(APU)は・・・

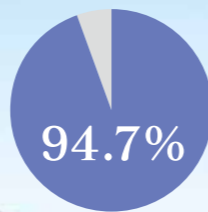
学生教員の約半数が外国人で、2012年5月現在83カ国・地域から2,526名の留学生が学ぶ国際大学。海外留学する学生が多く、優秀な人材を国内外に輩出し、高い就職率を誇る。また、一部の講義を除き、ひとつの講義が英語と日本語で行われており、日常生活においても英語を存分に使える環境。

2010年度就職状況
(2011年3月31日現在)

APUの就職内定率

内定報告者 786名

就職希望者 830名



内定率



APUキャンパス



21世紀の有為な人材を育成する
岩田高等学校

〒870-0936 大分市岩田町1丁目1番1号 TEL.097-558-3007

<http://www.iwata.ed.jp>



IWATA SECONDARY SCHOOL

岩田高等学校 APU・立命館コース

クアラルンプール
ツインタワー前にて

岩田高校とAPU・立命館大学のコラボレーション
国際社会の次世代リーダーを養成する
7年間連携教育プログラム

教育の目標

国際社会のリーダーたる資質を養成

社会に対する貢献と奉仕の志、哲学を兼ね備えた、国際レベルで活躍できるリーダーを育成します。

学力を伸ばす

グローバルスタンダード

国際社会で活躍する次世代リーダー

人間力を身につける

世界のハイ・スタンダードを身につける

APUとの日常的な交流、連携によって世界のハイスタンダード(資質)を体験します。

大学入学後を見据え、個々人が目標設定

大学進学の後を見据えた目標を設定し、その実現のために必要な能力・スキルや資質の育成をサポートしていきます。

基礎学力の充実

基礎学力の充実には社会で活躍するための前提条件。体験的授業を多く取り入れ、日本語・英語以外の言語や国際社会で応用の出来るディベートやプレゼンテーション能力の基礎を身につけます。また、入学時より小論文の書き方や演習に取り組み、卒業論文(英文と日本語)で成果を問います。

学校法人 **岩田学園**

高大連携プログラム

高校
1年
APU講座I

マレー語・韓国語の学習



高校
2年
APU講座II

夢につながる経済学



高校
3年
国際

卒業論文作成

週2日 APUで勉強 -AP

週に2日APUに行き、APUの学生と共に講義を受けます。春セメスター(前期)では「日本国憲法」「メディア入門」「日本の文化と社会」「地域研究I」を受講します。秋セメスター(後期)ではさらに4科目受講します。



進学パターン

